



兵協連だより

HYOGO CONSUMER'S CO-OPERATIVE UNION

2015 **12**

18回兵庫県・兵協連共催 監事研修会



11月5日(休)、兵庫県民会館において兵庫県・兵庫県生協連 共催「第18回監事研修会」を開催、15生協29名が参加しました。MMコンサルティング代表 三宅 充氏が、監事業務の基本や監査のポイントなどについてご講演。後半の分野別グループディスカッションでは監事業務の情報交換が行われ、有意義な議論の場となりました。(関連記事 P.3)



兵庫県農業協同組合中央会
(JA 兵庫中央会) 専務理事

浜田 充

(はまだ・みつる)

知恩報恩

若いときは、自分が61歳になるとは夢にも思わなかった。中央会に入りたての頃、50才を超えた先輩の方は雲の上の存在であった。最近では優秀な若い職員がたくさん入り、そんな若い職員からエネルギーを貰いながらやっている。

しかし、農協法上61年目の中央会は、まさに存立をかけた「天下分け目の夏」を迎えた。これまでJAの事業目的は最大奉仕、非営利の原則と規定されていたが、それが農業所得の増大と変更され、現行の中央会制度を廃止するとした法改正が8月末に成立したことがある。JAが総合事業を通じて農業の発展や地域に貢献してきた取り組みを全く評価せず、またJAの協同活動に対する配慮のかけらもなかった。

環太平洋連携協定(TPP)交渉も10月はじめに大筋合意に達した。新聞は世界一の巨大自由貿易圏誕生と歓迎ムードだ。だが、それを言うのは早すぎる。大筋合意の全体が公表された内容は、政府の自己評価と生産者の受け止めには大きな乖離がある。一方的な見方でしか評価されず、これまで支えてきた農業者の取り組みへの尊重や敬意も無い。JAにとっては国内農業者生産を維持・発展できるかどうかが真の

評価基準であるはずと思っている。

今、自分にできること、そして自分の原点は何なのかということを考えるようになった。やはり、「協同組合」という組織の中で永年鍛えられ、「自分の力ではどうにもならないものがこの社会には確かにあるということ」を知り、そして「組合員のために辛抱すること」を強く刷り込まれたことが、今の自分の生きる力に確かになっている。

今の職員は知的好奇心も強い。県内の協同組合に所属する職員が一同に会して、くらし、地域、社会の中で果たすべき役割についてともに考えることを目的に兵庫JCC(兵庫県協同組合連絡協議会)とコープこうべが共催で開催した「虹の仲間づくりセミナー」には多くの職員が参加していた。

若い人だけではない。7月の「高村勤さん追悼展」には多くのOBの方が故人の生活協同組合人生を一緒に振り返るために来場された。賀川豊彦先生が夢見ていた組織に少しは近づいてきたと思う時が多くなった気がする。

春秋に富む職員に伝えることがあるとすれば、組合員のために何ができるかを考え続けること、そして辛抱して学び続けること。そしてもっともっと高みに行ってくれることを心から望む。

CONTENTS

2. 想点
3. 兵庫県・兵協連共催「第18回 監事研修会」報告／
第2回共済生協部会・研修会 報告／
第2回医療生協部会・研修会 報告／
単協通信 阪神医療生活協同組合
4. 単協通信 佐曾利消費生活協同組合／
甲南大学生生活協同組合

5. 単協通信 たじま医療生活協同組合／
神戸市民生活協同組合
6. 協同組合のかけ橋
7. 兵庫県のページ／ヨッシーの窓
8. 第11回初級経理学校、第14回税務・経理講習会のご案内／
新春トップセミナーのご案内／1.17ひょうごメモリアルウォーク2016
のお知らせ／県連日誌／編集後記

第18回

兵庫県・兵庫県生協連 共催

「監事研修会」を開催

11月5日(木)、兵庫県民会館において兵庫県・兵庫県生協連共催による「第18回監事研修会」を開催。この研修会は、生協運営の健全な発展に果たすべき監事の役割と監査の実務のあり方を学び、今後も健全な生協運営を実施していただくために計画したもので、15生協29名が参加しました。

はじめに、兵庫県企画県民部消費生活課 石田千春 主幹より「監事・監事会の役割と指導検査で見受けられる問題点」と題して、ご講演。また、MMコンサルティング代表 三宅 充氏より、「監査業務を遂行するにあたって（改正生協法後の監査業務）」と題して監事業務の基本や監査のポイントなどについてご講演いただきました。今年には分野別グループでの交流の場もあり、参加した役職員・監事からは「経営一辺倒の監査にならないよう、協同組合理念を大切にす監査も必要だと思う」「県の指導検査の指摘事項の内容については他生協の事例でも参考になる点がいくつもあると思った」などの感想が寄せられました。



兵庫県企画県民部
消費生活課
石田千春 主幹



講師の兵庫県
難波 宏明 室長

自転車損害賠償保険の相互連携を ～2015年度 兵協連 共済生協部会・研修会～

11月11日(木)、兵庫県民会館において、今年4月に施行された「自転車の安全で適正な利用促進に関する条例について」をテーマに「共済生協部会・研修会」を開催。共済生協の役職員、事務局あわせて6生協16名が参加しました。兵庫県企画県民部交通安全室長 難波 宏明氏を講師に迎え、県下の自転車事故の推移や自転車保険の加入状況などについてご講演いただきました。参加者からは「条例について、よく理解できた」「お問い合わせも多くなっているの、今後は兵庫県と一緒に業務を推進したい」などの感想が寄せられました。

地域医療構想について学ぶ

～2015年度 兵協連 医療生協部会・研修会～

11月17日(火)、兵庫県民会館において「医療生協部会・研修会」を開催。県の地域医療構想の現状を学ぶため、医療生協の役職員、事務局あわせて7生協12名が参加しました。兵庫県健康福祉部健康局医務課企画調整班 班長 助野 吉郎氏を講師に迎え、「地域医療構想策定ガイドラインについて」をテーマにご講演いただきました。参加者からは「これからの医療事業経営にとって、県の現状や方向性が分かってよかった。今後の圏域に注視していきたい」などの感想が寄せられ、地域の組合員の健康とくらしに役立つ医療と介護事業をすすめるうえで有意義な研修会となりました。



講師の兵庫県
助野 吉郎 班長

単協通信

● 阪神医療生活協同組合 ●

歓声がひびく「いきいき交流広場」で秋の一日

10月25日(日)、「第1回いきいき交流広場」が、秋空のもと多くの参加者で楽しく開催されました。今まで30年間にわたり、阪神医療生協の三つの支部が合同し、秋の一日をにぎやかに、そして優勝支部を決める運動会でした。しかし、今回からはおもむきを変え、脳トレも含めた、支部同士が競わず、一緒になって交流しながら競技するスタイルに変えました。

普段あまり交流のない支部同士ですが、玉入れ合戦も、パンくい競争も、一緒になって取り組むことによって顔見知りになったり、所属する支部の紹介

をしあったりとこの日一日で距離がぐっと縮まり、同じ医療生協の組合員としての連帯を深めることができました。また、3



どの競技も熱戦が繰り広げられました

代にわたる組合員さん世帯の参加もあり、本当に「いきいきとした交流」ができました。

(通信員 舟越 義晴)

佐曾利消費生活協同組合

店の「顔」と歴史と出会い

我が村は全国有数のダリアの花と球根の生産地です。毎年10月の第3土・日曜日に「花まつり」を開催し、今年は初めて千人超の来訪者を迎え、静かな山里に活気が溢れていました。生協組合員はおにぎりや新鮮野菜とともに、新米コシヒカリの販売を行いました。

それに合わせて、生協を中心とした村づくりを応援する方たちの手で、売店の顔が化粧されました。ダリアの花が壁一面に映え、『花の里生協店』の看板文字も目立っています。

さて、佐曾利（さそり）という地名ですが、あの恐いサソリとは無関係で、かつてこの地を治めた武士の姓だそうです。10月17日の花まつりの会場に、なんと岐阜県から佐曾利さん（姓です）がご兄弟で来られました。その方の村には8軒の佐曾利さんがおられるそうで、ネットで催しを知り、自分と同じ地名にひかれて来ました。

近くに銀鉾山があった豊臣時代は天領地、きっと何か関係が……素敵



な出会いでした。このイベントがなければ生まれない奇遇、村の産業を築かれた先輩に感謝です。歴史を背負った我が生協、ますます大事にしなければという思いが強くなりました。

（理事長 中村豊）

甲南大学生生活協同組合

Café Porte オープン

10月1日(木)、甲南大学2号館グローバルゾーンにCafé Porteをオープンしました。



甲南大学グローバルゾーン「Porte」は、フランス語で「扉」を意味し、学生達が広く世界とつながってほしいと名付けられました。

留学生や留学を体験したい学生が交流できて、「気軽に海外留学を体験する場」になっています。

生協からもCafé Porteでは主に英語で対応ができるスタッフをスタンバイし、3種類のランチセットを販売しています。留学生にも食べやすいバーガー類、ミニサラダとスナックのおしゃれなメ



ニューです。甲南大学オリジナルコーヒー「KOCO Café No.836」等のドリンクも提供しています。

国際交流・語学・国際理解を「出会い・楽しみ・共に学ぶ」のコンセプトで学生のグローバル化を支援する一助としてのカフェを運営します。

Café Porteオープン初日には、弘前大学生協から送っていたいただいた採れたての初りんごを組合員のみなさまにおす分けしました。弘前大学生協には今夏の職員合宿でもお世話になりました。Café付近で、

甘酸っぱくて美味しいりんごを組合員の皆さまにもお配りすることは、新しいCaféに関心を持っていただくきっかけにもなりました。

今後とも大学との協力関係を強め、組合員の皆さんの「知る、学ぶ、活動する」ことを応援協力していきます。

（通信員 中谷満子）

広がる「えがお」

たじま医療生協が介護事業を始めから10年が経ちました。当初は旧豊岡市を中心に活動していたのが、数年前に訪問リハビリの需要が増え、城崎・港地域でも活動するようになりました。そして少しずつ利用者が増えていきました。その後、地域の組合員さんの口コミと職員の努力で居宅、訪問看護、訪問介護、訪問入浴と、すべての事業所を利用していただけるようになりました。

しかし問題点も浮かび上がりました。午前中の訪問が終わって休憩を取ろうにも、事業所まで距離があるため、一旦帰って午後から出直す大変時間がかかります。またトイレに行きたい時などは近くのコンビニに寄り、何かを買ってから出ることもありました。



職員「なんとかしてほしい」という声を受けて、経営検討委員会等で話し合

いました。どこかよい場所はないかと探した結果、津居山地区に、たまり場としても使えそうな一戸

建ての物件を見つけました。それから話ほとんどん拍子に進み、ここに「訪問看護ステーションえがお」「ヘルパーステーションえがお」の津居山事業所兼休憩所を開設しました。7月10日付をもって県への届出が終了し、現在稼働中です。8月25日には地元住民や組合員をお招きして、開所式を行いました。その後9月26日、10月19日にも地域住民の方との懇談会を行いました。創立20周年の今年、4,000人の組合組織をめざすうえでも、城崎・港地域への「介護事業所えがお」定着に向けて取り組んでいきます。

(通信員 春木 圭介)



「創立60周年記念講演会」を開催

11月5日(木)、神戸朝日ホールにて「神戸市民生協 創立60周年記念講演会」を開催しました。当日は晴天にも恵まれ、公募で当選された招待者の方々など、たくさんの方が来場されました。

前半の部では当組合の理事長の挨拶の後、神戸市消防音楽隊のミニコンサートが開かれ、日本の秋にちなんだ童謡など、親しみやすい曲を演奏されました。後半の部では辛坊治郎さんに「報道現場から」をテーマとした講演を行っていただきました。



参加者の方々からは「消防音楽隊の演奏がすばらしかったです」「講演会ははとともわかりやすく、面白くて面白く、心に残るよいお話でした」など、大変好

評をいただきました。

今年では当組合が設立されて60年となりますが、その間、時代のニーズに合わせて様々な共済事業を行ってまいりました。今後さらには組合員の方々のご意見を取り入れ、事業の改善・発展を続けることにより、末長くご利用いただけるような生協でありたいと思います。

(通信員 鹿田 裕子)



JF

(一財) 兵庫県水産振興基金

平成27年度 大輪田塾修了式 ならびに入塾式 開催

「幅広い視野をもち、将来の水産業界をリードしていく人材育成」を掲げ、漁業に限らず様々な研修・講義を行っている大輪田塾（山田隆義塾長：JF兵庫漁連会長）の修了式ならびに入塾式が、11月2日(月)、明石市の兵庫県水産会館で行われました。

この塾は、平成17年10月に開設され、今秋で10年が経過します。塾生は、県下

の漁業者や漁協職員が対象で、原則として2年間かけて月1回開講される講義や現地研修を受講してレポートを提出し、所定の単位を修得した後、これまでの研修の集大成として関係者を集めた修了論文発表会で自らの論文を発表します。この取組みは全国的にも珍しいということで、近年は視察や講演依頼などがあり注目されています。また、これまでの修了生は37名で、各漁協の組合長や理事をはじめ、漁協青壮年部の役員、地域漁業のリーダー、漁協幹部職員として活躍しています。

今年の修了・入塾式では、8期生2名、9期生6名が修了（1名は操業中のため欠席）するとともに、11期生として6名が入塾しました。今回は初めて女性の塾生が誕生し、節目の10年を迎えた同塾は、今後も“浜のリーダー”の育成に力を入れていきます。



平成27年度大輪田塾修了生と塾関係者との記念撮影

JA

JA 兵庫中央会

女性役員のますますの 活躍に向けて

JA兵庫中央会は9月11日、神戸市内で「JA女性役員研修会」を開催しました。本研修会は、「JA女性役員として、より積極的に地域の女性の声を集約・発信する」をテーマに、JA女性役員がリーダーシップを発揮するためのノウハウを身に付け、一層の役割発揮に資することを目的。県内13JAで35人の女性役員が選任されている中、このたびは10JAより27人が参加しました。

まず、ファシリテーションやリーダーシップについて、(株)ライフキャリアデザイン・アソシエイツの川端美智子氏より講義を受けました。その後、宮城県JAみどりの（宮城県）の佐々木みさ子理事から役員として心掛けていること等に関する報告を受けた後、グループに分かれて活発な意見交換を行いました。

最後に、「明日から心掛けること」をグループで話し合う中で、「プレッシャーを感じる責務もたくさんあるが、自己研鑽と思って前向きに捉えたい」等の意見が出され、JA役員としての一層の活躍に向けて、意識を高め合いました。



模造紙に発言を書きとめながら意見交換する女性役員



マイナンバー制度に便乗した不正な勧誘などにご注意ください!!

今年10月以降、住民票を有する方一人一人にマイナンバーが通知されます。それにあわせて、マイナンバー制度を悪用した不正な勧誘や詐欺が横行しております。

このような連絡にご注意ください!!

個人番号カードの作成に、お金が必要です。

マイナンバー制度のため、銀行口座や貯蓄額についての情報が必要です。



マイナンバーの通知や利用、個人番号カードの交付などの手続で…

金融機関の口座番号やキャッシュカードの暗証番号、所得や資産の情報、家族構成や年金・保険の情報などを聞いたり、お金やキャッシュカードを要求したりすることはありません!

こうした不審な電話や訪問、手紙などの連絡がありましたら、

お近くの消費生活センター（188番 [局番なし]）まで、ご相談ください!

適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

ヨッシーの窓

兵協連だよりをご覧のみなさま、こんにちは。適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネットの吉江です。

12月に入り、慌ただしさが増す中、クリスマスの装飾も増えてきましたね。そんなクリスマスの雰囲気、少しだけ年末の慌ただしさを忘れることができる…ような気がします。

さてさて、今回は少し横道にそれたお話をさせてください。ひょうご消費者ネットの活動をしていると、時々「なんで、NPOの活動しているの? いいことあるの?」ということ聞かれることがあります。(自分でも「なんでだろう」とふと考えてしまうのですが…) そんな時、よく「元気が出るからですよ。」と答えています。ひょうご消費者ネットのシンボ等に参加して下さるみなさま、そして、兵協連だよりをご覧のみなさまは、それぞれの立場で、本当に熱心に消費者問題に取り組まれています。私自身、一人で知識を増やしてみても、相談を聞いても、事業者の規約や法律の規定に、ももんとしてしまいがちです。それが、熱心なみなさまと活動していると、なんだかうれしくなってくるのです。そして、「元気が出る」のです。ご覧のみなさまの中で、もし、私と同じように、ももんとしてしまう方がいらっしゃったら、ぜひ、シンボ等に参加してみてください。

今年一年、「ヨッシーの窓」をご覧いただき、ありがとうございます。来年もどうぞよろしくお願ひ致します!

(ひょうご消費者ネット 理事 司法書士 吉江直記)



連絡先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通五丁目7番11号兵庫県母子会館2階C
TEL: 078-361-7201 E-mail: office@hyogo-c-net.com

MOVE

第11回「初級経理学校」のご案内

経理担当者の初歩からの人材育成をめざして、生協簿記の基礎知識から決算関係書類作成までをていねいに指導します。

日程：1/14日(木)、15日(金)、19日(火)、20日(水)、21日(木) 9時30分～18時

会場：兵庫県民会館 受講料：お一人 20,000円(昼食費、交流会費含む)

講師：三宅 充氏(MMコンサルティング代表)

カリキュラム (1) 生協簿記の基礎知識 (2) 取引と仕訳 (3) 主な勘定科目の説明

(4) 決算手続き・試算表の作成・精算表の作成 (5) 貸借対照表と損益計算書・剰余金処分案の作成

第14回「税務・経理講習会」のご案内

税務経理の諸問題等についての合同の講習会とクラス別の講習で、生協の税務と経理の実務について学びます。

日時：2/23日(火)・2/24日(水) 9時30分～18時

会場：兵庫県民会館 受講料：会員生協：無料/関連子会社：お一人 5,000円 *ただし、昼食代・テキスト代は実費を徴収します。

講師：江藤 俊哉氏(税理士)、三宅 充氏(MMコンサルティング代表)、宮田 正樹氏(西宮市職員生活協同組合 統括部長)

クラス別講習内容：(1) 初級クラス(定員20名)

・内容：①税務・経理・財務管理の基本 ②簡単な設例に基づく税務申告書の書き方

(2) 中級・上級・関連子会社(株式会社)クラス(定員20名)

・内容：①設例に基づく税務申告書の作成(演習含む) ②上級者用設例による解説

参加申し込み・お問い合わせ：兵庫県生協連 TEL. 078-391-8634

2016年 兵庫県生協連 第11回 新春トップセミナーのご案内

●開催日時：2016年1月9日(土) 14時～17時30分

●スケジュール：

14時～15時50分▶記念講演会(トップセミナー)/県民会館10階「福」

16時～17時30分▶賀詞交換会/県民会館7階「鶴」

●参加対象：会員生協・団体 理事長、常勤(非常勤)理事、監事、職員、兵庫県生協連 理事・監事

●定員：80名 ●参加費：お一人 3,000円

●記念講演：「2050年超高齢化社会の
コミュニティ構想について」

●講師：NPO法人「高齢社会をよくする女性の会」理事長
東京家政大学女性未来研究所所長 樋口 恵子氏

●講師：藤井 晴夫氏(生協総研 研究員)

●参加申し込み・お問い合わせ：兵庫県生協連 TEL 078-391-8634

阪神・淡路大震災21年

～1.17は忘れない～

～ひょうご安全の日のつどい～

1.17ひょうごメモリアルウォーク2016

～東日本大震災被災地の復興を応援します～

ウォーク
コース

震災時を思い起こしながら、緊急時の避難路、救済路を歩き、防災意識を新たにするとともに、ゴールとなるHAT神戸・なぎさ公園で開催される「1.17のつどい」に参加しませんか。

開催日：2016年1月17日(日)

参加費：無料(事前申込要)

●事前参加申し込み・お問い合わせ

ひょうご安全の日推進県民会議 事務局

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1(兵庫県復興支援課内)

TEL:078-362-9984 FAX:078-362-4459

*電話でのお問い合わせ時間……9:00～17:30 12/29～1/3、土日祝は除く。

コース名	スタート会場	スタート時間
東15kmコース	西宮市役所(西宮市六湛寺町)	午前 8:00
東10kmコース	芦屋市川西運動場(芦屋市川西町)	午前 8:30
東2kmコース	王子公園補助競技場(神戸市灘区)	午前 11:00
西15kmコース	須磨海浜公園(神戸市須磨区)	午前 8:00
西10kmコース	県立文化体育館(神戸市長田区)	午前 8:30
西5kmコース	神戸市立中央体育館(神戸市中央区)	午前 10:00
子ども(親子)ウォーク 西5kmコース	神戸市立中央体育館(神戸市中央区)	午前 10:00

このほか、事業所・学校などの単位で、災害時帰宅困難者の徒歩帰宅訓練を目的として実施する「帰宅訓練ウォーク」もあります。

*当日開催の有無は、ひょうご安全の日公式サイトほか、電話案内(0180-991-546)でもお知らせします。

主催：ひょうご安全の日推進県民会議

編集後記

日々、水の冷たさを感じるこの頃……。寒い冬もアクティブに過ごしたいです。先日、市の広報紙で見つけた「英語落語(全5回)」講座に通い始めました。学生時代、英語はちよつと苦手でしたが、思い切つてチャレンジ！月一回、老若男女が集っています。練習でも出囃子が鳴るとワクワク。英語落語の「オチ」のユアンスは、なかなかむずかしく、顔の向き、表情、声のトーンに悪戦苦闘。でも、表情筋には効果がありそう……。気分はすでに枝雀さん(？)。年明けにはミニ発表会も予定されており、高座デビューを心待ちにしています。

☆来年も、会員生協みなさまのNEWSをお待ちいたしております。引き続き「兵協連だより」をどうぞよろしくお願いたします。みなさま、よいお年をお迎えください。(中尾)

県連日誌

- 12月4日(金) 兵庫JCC第3回幹事会 (県民会館 ぼたん)
- 12月7日(月) 兵協連第4回理事会 (県民会館 1201)
- 12月8日(火)～9日(水) 兵協連「大規模災害対策」事業継続(BCP)マニュアル策定研修会 (兵庫県農業共済会館 委員会(県民会館 ばら)
- 12月15日(火) 兵協連第2回ピースアクション